



# ニュースレター あすか

2010  
12月号

通算 213 号

2010年12月1日

## 「夢をかなえるプロジェクト」

### 家族と一緒に食事がしたい

シヨートみどりいりーダー 森元 智代

みどりいりーダーシヨートステイご利用の植木様は、息子さんやお嫁さん、娘さんが順番に毎日昼と夕食時に面会に来られ、食事介助をされています。少しでも家族がそばにいたいので家庭にいる時と変わらないようにしたいとの思いからです。

そこで、私が「9月24日に、89歳の誕生日を迎えられるので、ご家族そろって誕生日をみどりいりーで開いてみてはどうですか?」と提案いたしました。

息子様はこの提案をとて喜んでくださいました。

さっそく、9月26日のお昼に、「ご家族10名の方が集まってくださり、5階の庭園を望むフロアーで誕生日パーティーを行いました。おかあさんは、甘いものが好きだから」とお嫁さんが心をこめて作られたバースデーケーキもありました。

植木様を囲み、にぎやかで幸せな時間が流れました。思い出話が尽きなかったことと思います。

庭にはケイトウやセンニチコウなどの色とりどりの花が咲き乱れていました。

ご家族は「去年の今頃はこんなことができるとは思わなかった」と、とても感激してくださり、私たちもとても幸せな気持ちになりました。植木様、また来年もすてきな誕生日会をしましょうね。

シヨートみどりいりーでは、これからもこのような企画を続けたいと思います。お誕生日や何かの記念日、おうちやレストランでお祝いしたいけれど、体調の都合で外出が出来ないなどの場合、新館5階屋上のガーデンレストラン(?)でご家族と一緒にパーティーをしてはいかがでしょうか? 私たち職員もお手伝いできればうれいです。



お嫁さん手作りのバースデーケーキ



屋上ガーデンで記念撮影



お誕生日おめでとう  
ございます!

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも  
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143

FAX:082-879-3190

#### 【目次】

#### 【ページ】

1. 小窓の花ことば シリーズ10.....2
2. あすか高齢者相談室 シリーズ4
3. あすかグルメだより シリーズ9.....3
4. 肺炎球菌ワクチン・インフルエンザワクチンの接種をおすすめします
5. あすか事業所だより
6. あすか事業所だより.....4
7. 園芸療法 第4回.....5
8. アートの世界
9. おもしろきかな我が人生  
～早木 サチ子さん.....6
10. 若竹旬会 10月作品抄.....7
11. あすかスタッフに迫る!.....8

「リハビリトレーナーの「問わず語り」」

しゅりあちよーく

リハビリトレーナー

高柿 美恵



この稿を書き始めてあつという間に一年が経ちました。

私の「問わず語り」は、皆様方ひとり一人の要望や心の思いなどをそれとなく汲み取ってリハビリに活かして行くことと思つてはじめてたわけですが、中にはずいぶん的是な対応もあつた、と反省しきりです。

花を介しての発句や俳画、丹精込めて育てた山野草を手折つてさりげなく花瓶に挿してください。趣味の作陶で作られた花入れが小窓のたたずまいを引き立てています。

考えて見ると、小窓の花々は単なる草花から「慰め、励まし」そして「語らいの場」へと移り、心が動いて体が動く、という思いがけない効果も生みましました。

不自由な身体や苦痛を乗り越え、豊かな人生経験に裏打ちされた姿で懸命にリハビリに励んでおられる皆様方の姿に接して学ぶのはむしろ私の方でした。

今、小窓には、冬が近いことを知らせる大文字草が楚々と咲いています。

これからこの「手作り小窓」が皆様のリハビリ空間を豊かなものとなりますように念じて終章とさせていただきます。

ありがとうございます。

だいもんじそう 大文字草



「あすか高齢者相談室」より

シリーズ④

「介護に関わる質問にお答えします」

あすか居宅介護支援事業所

介護支援専門員 堀野ひろみ

「安佐南区はいかい高齢者SOS ネットワーク」についてご案内します。

安佐南区では、認知症の症状のひとつである徘徊により行方不明になられたお年寄りを関係機関の連絡網を通して早期発見・保護するためのしくみがあります。これから寒い季節を迎える時期ですので徘徊のご心配がある場合は登録しておかれることをお勧めいたします。このネットワークは平成13年に始まり、現在区内で106名の方が登録していらっしゃいます。

この仕組みに登録しておく、万が一の方不明になられた場合に、安佐南警察署に捜索願いを出すと、ネットワークに協力しているJR各駅・アストラムライン各駅・タクシー会社・コンビニエンスストア・ガソリンスタンドなどの関係機関にご家族の了承を得てご本人の特徴などを記載した「連絡票」がFAXされ捜索が始まります。広範囲にきめ細かく捜索されます。

利用申し込みは先、

安佐南警察署 (874・0110)

安佐南区健康長寿課 (831・4568)

です。

ご利用希望の方は担当のケアマネージャーに連絡ください。

なお、その他の徘徊対策としては左記のものがあります。

ご本人が立ち寄ると思われるお店や近くの交番に連絡をくれるよう頼んでおく。

玄関の戸にセンサーを付けて出ていくと分かるようにしておく。

連絡先・氏名などを衫の内側などに書いておく。場合によっては本人が反応しやすい旧姓を記すのもいいでしょう。

携帯電話会社や警備会社のGPSサービスを利用する。

など。

「あすか高齢者相談室」では、介護に関する相談をいつでもお受けいたしております。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

あすか高齢者相談室

082・830・5177



まやるちよーく

9/22

# まやるの敬老会

9月22日は、まやるちよーくの敬老会でした。今年も、スーツで正装された19人の第一タクシー職員さんがお祝いに駆けつけてくださいました。いつもながら、プロ顔負けの芸達者な運転手さんが旅芸人に扮し、ハーモニカ演奏をしてくださいました。ハーモニカの伴奏に合わせてたくさん懐かしい歌をみんなで一緒に歌いました。どこか懐かしいハーモニカの音色は、昔の風景を思い起こさせるようで、会場はやさしい笑顔で包まれました。

第一タクシーさんから、利用者お一人おひとりに素敵なプレゼント、そしてまやるちよーくには緑色の立派な車椅子をいただきました。ご利用者様から心を込めて花束の贈呈がありました。

今年の敬老会も大変賑やかで笑顔満載、盛大に行われました。



乗り心地はいかがですか？



ありがとうございました。

つどいの家

9/29

# イモ掘り

収穫を祝ってバンザイ



ご利用者様、スタッフみんなで力を合わせて育てたお芋の収穫の時期を迎え、さわやかな秋晴れの日、つどいのバルコニーにてみんなで芋ほりをしました。

青々茂った芋のツルをご利用者様、スタッフで力を合わせ、「よしよし」とひっぱると大小15本の芋が次々と顔を出しました。(お顔は少し痩せていますが)収穫したお芋を見て、「ええお芋さんが出来るとねえ!」とみんなにっこり。

フロアで収穫したお芋を見て、「まあ〜こんなに取れたんじゃね!」と大きな歓声が起こりました。そしてご利用者、スタッフみんなで収穫を祝って、「バンザイ!」

そして、収穫したお芋でスイートポテトを作りみんなでいただきました。秋の心地よい空気とおいしいお芋を堪能され、みなさん大満足でした。

しゅりあちよーく

野ばら

10/18

# 秋の大運動会

毎年恒例の運動会が、今年もにぎやかに開催されました。

まず始まりは「応援合戦」から。赤白両チームから「頑張るぞー!」と大きな掛け声があがりました。「仮装競争」では、「孫の運動会を見に行くおばあさん」というテーマで、紅組白組それぞれの応援団長に利用者の皆様が、服を着せ・化粧をし・ネックレス等の装飾品を飾り付けていくという競争をしました。おばあさん役の職員は遠くからでも良く見えるようにしっかりと厚化粧。

その顔を見てまた大爆笑・・・

『飴玉探し競争』では、誰かわからなくなる位顔が真っ白に・・・大いに盛り上がった



だれでしょう？

大運動会でした。「今日は楽しかったよ!」「来年の運動会が楽しみじゃねえ。」「また笑わせてね。」との声をいただき嬉しかったです。これからも皆様の期待に応えられるようなイベント作りをしていきたいと思えます。

# 園芸療法

「心が動けば体も動く」をテーマに

## 第四回

園芸療法士 西野 清子



11月になり朝晩めつきり冷え込んでまいりました。いわやのご利用者様にもしつかり上着を着込んでいただいて屋上庭園を散歩していただいています。

寒くなっても私がしつこく？散歩にお誘いするのは、下肢のリハビリはもちろん、午前中の太陽の光の効果を期待してのことです。主に代謝を良くし、食欲増進や、カルシウムの吸収をよくさせる効果があると実証されています。また冬場のうつ症状にも期待できるそうです。外に出て日光に当たるだけで安上がりな健康法ですね。

そして今月のデイサービスセンター野の花での園芸療法の時間は収穫物がいっぱい、ご利用者様に

も忙しく、また活気あふれる時間となりました。収穫したサツマイモを飾り、みなさんでお団子を作って、お月見会をしました。



vegetable flower

vegetable flower



「イモの大きさはどんな？」「そろそろいいんじゃないかねえ」など心待ちにしてください。分、イモ掘り当日、それはもうテンションが高くて逆に要注意でした(笑)



しかし、収穫量が少なくさみしい結果となりましたが、みなさんが原因を考え「来年は水をしっかりとやったらいいよ」や「根を虫に食われたんじゃ」と対策を練ってくださいました。

実は園芸療法で大切なのはこの部分なのです。みなさんと相談し合って、目的に向かって進んでいくという行程がまだまだ自分や人のために役立てるんだという、自信の回復にもなっています。園芸療法は決して、完成品を作るのが目的ではなくより多くのコミュニケーションをとり目標に向かうプロセスが大事と考えます。そんな中、みなさんで作ったサツマイモ入りようかんは格別でした。毎週毎週起こる出来事にこちらがワクワクしっぱなしです。

flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower

# アートの世界

まゆるちよーく 船越 シン子様

「ありがとう、上手だね!」「本当に有り難いよ」と嬉しそうに笑顔で覧になる船越さん。明るくカラフルで独特のタッチの作品は、ゆっくりと時間をかけて描かれています。



しゅりあちよーく 後藤 義高様



「しゅりあに出来るようになり、絵に興味が出てきた。レオナルド・ダ・ヴィンチの『モナリザ』、横山大観の『無我』の模写は特に難しかった。同じ絵を何千回描いてもまとまら描けるものは無い。毎回苦労しながら描いています。」と後藤様



「ご自分で画材を揃えられ、色々な技法で描かれています。マーカーを水でにじませた作品は、インクの透明感を生かした後藤様オリジナルの技法。人物画は、人柄や愛情まで描き込まれ、見る側に語りかけます。」

野ばら

はやき  
早木

サチ子さん



おもしろきかな我が人生 ♪

昭和2年2月9日(83歳)



「元気の秘訣は、  
野ばらで楽しく  
過ごす事」

- ・ お住まい...安佐南区毘沙門台
- ・ 好きな食べ物...果物全般・パフェ
- ・ 趣味...絵を描くこと・読書

【幼少期】青年期

日韓併合後、日本の統治下に朝鮮が置かれた時代。ロシアと朝鮮半島が接する清津(セイシン)漁港に、父は内地、即ち山口県下関漁港の一等地である(株)林兼漁業会社より支店長として朝鮮に派遣されました。その一年後、母は私を身籠り、福岡県北九州市小倉まで三日かけてお産の為帰郷しました。結婚後二十年、ようやく授かった第一子とあって大変な喜びようだったようです。私が五歳で弟が出来た頃、又父は転勤になりました。親子四人、朝鮮半島の中心地、名高き金剛山のふもとにある長箭(チャンゼン)に移り住みます。長箭小学校六年の時、悩みぬいた末、私は内地の女学校への進学を希望します。父の枕元に座り込み「いいとおっしゃって下さるまで、ここを動かせません!」と云い、父を泣かせ母を苦しませ、希望の内地の県立小倉高女へ進学させて頂きました。こうと決めたら貫き通す性格なんです。その後、第二次世界大戦の影響で兵器を作る事に就学時間はさかれ、勉強は殆ど独学となります。試験時は、試験範囲を教えられるのみ、父を泣かせ母を苦しませ決めた進学です。私は必死で夜寝ずの勉強に励みました。その甲斐あって成績は一番でした。卒業間近となりますと、男性の労働人口減少を補うために、女

性にも、教員・車掌・郵便物集配業務等の試験がありました。成績の良かった私は、北九州市の五つの県立校より選ばれた五名として、師範学校への入学が決まります。本当は朝鮮の父母の元に戻りたかった。ですが、遊ぶ事や甘えは許されません。泣きながら残り、勉強致しました。そして卒業。卒業後は朝鮮に戻り、教員になる事を約束し、ようやく父母のいる朝鮮へ戻りました。その後二年間、朝鮮学校の先生をします。



【終戦】

真夏の八月十五日、終戦となり、私達朝鮮在住の日本人はロシア兵により三か所に集められました。着替えもなく困っていると、朝鮮人の教え子達が、夜遅く人目に付かないようソツと着替えを持って来てくれました。日本へ帰る為のお金も教え子の親御さんが何とかして下さり、朝鮮の方々の人情により日本に帰る事ができたのです。小倉へ帰ってきましたら、予科練に出ていた弟が出征前の飛行機不足で

帰っており、手を取り合ってお互いの無事を喜びました。

【結婚】

教員時代の先生のお世話で主人と結婚しました。勉強ばかりしてきた私は初め、お洗濯もお料理もできません。情けなさから主人に「家に帰りたい」と申しました。主人は「何もできなくて結構。今から覚えていけばいい」と黙々とお料理を作って下さいました。

結婚後五年、子供を授からない私に、子供好きの主人が「二人で仲良く暮らしていきましょう」と云って下さいました。その一年後、男の子が出来、二年経って女の子に恵まれました。主人はいつも笑顔で私の事を「さっちゃん」と云い、子供達がそれを真似するのを喜んでいました。本当に優しく寛大な主人でした。

【天国の主人へ】

今、野ばらで、穏やかに豊かに楽しく過ごしていますと伝えたいですね。とても幸せです・・・と。

何に対しても一生懸命な早木様。中途半端な事はせず、何事もテキパキとこなされます。壁画作りや小物作りでは、皆が思いもよらないアイデアで素晴らしい作品を作り出して下さいませ。

野ばら 深川 智美



# 若竹句会十月作品抄

小西 春良

デザートに 初めていただく 無花果いちじくや  
〔寸評〕この句は、切字(きれじ)の「や」を下五においていますが、一般的には、まず上五で切ることを工夫する。それでもうまくいかない場合には中七で切ることを考える。それでもダメな時は下五で切字を使う——といわれていきます。  
(修正句) 無花果や今年初めてデザートで としたらどつでしようか。

小西 春良

年々に 高嶺たかねの花に 秋刀魚さんまかな  
〔寸評〕サンマは秋になって水温が低下してくると北方より南下してくる典型的な季節回遊をする魚で、北千島より九州に至る間をプランクトンを食べながら回遊する。産卵期になると伊豆沖から紀州沖まで南下してくる。近年は海流の異変からサンマの漁獲量が少なくなつて大衆魚も高嶺の花といわれるようになってきているとか。世の中の動きに敏感に反応した生活俳句です。

河野 一枝

栗ひろい 落ちるを待たず 足でとる  
〔寸評〕晩秋の霜にあうと、褐色の実は急速に熟れ始め、とげのある穂(いが)が裂けて弾けて落ちる。ところがそれまで待てないのが人情。たたき落として両足裏で剥くとみずみずしい栗の実が出てくるのである。これが作者のいう「足でとる」にちがいない。懐旧の一句。

河野 一枝

行く秋や 肌着一枚 いかんせん  
〔寸評〕秋の暮れゆくのを惜しむ心がこもっています。「肌着一枚」で秋から冬への流れがよくあらわれている佳句です。

常広 信枝

人見知り しない笑顔の 無花果さん  
〔寸評〕無花果も作者もみんな笑顔。「人見知りしない」とは、言葉の発見。

常広 信枝

栗の花 初めは長く 今丸し  
〔寸評〕栗の花は初夏の頃、長さ一〜一五センチの毛虫に似た白い花穂を垂らします。秋に入ると丸い穂栗(いがぐり)となり晩秋の霜にあうと棘(とげ)のある穂(いが)が裂けて落ち、栗拾いとなります。夏から秋にかけての栗の成長を「長く」と「丸し」でまとめた一句ですが、栗の花と穂栗、どちらか一つの季語で「今」を捉える方が無難です。

綿谷カツエ

涼しさや 窓まどこしに見る 緑かな  
〔寸評〕「涼し」は夏の季語です。窓越しに見る新緑の涼しさを詠んだ一句でしょう。ここで注意したいことがあります。一句の中に「や」「かな」の切れ字を同居させないことです。「や」も「かな」もひじょうに効果の強い切れ字ですから、これをやると五・七・五がバラバラになってしまうのです。  
(修正句) 涼しさや窓越しに見る蜘蛛の糸

# 信廣高陽 選 (平成二十二年)

松尾 瀧夫

山粧やまづかう 松茸まつたけとりて 先にゆく  
〔寸評〕「山粧う」は、晩秋の全山紅葉や黄葉に彩られたさま。「松茸」は早いもので初秋のころから発生します。そしてこの二つはどちらも秋の季語です。一句の中に季語が二つ以上あるのは「季重ね(きがさね)」といって、好ましくないとされています。初心のうちには、特に気をつけてください。  
(修正句) 茸狩や人にとられる前をゆく  
茸狩や人より先を一步ゆく ではどうでしょう。

道普 宅眞

三段峽 行つてみたいな もみじがり  
〔寸評〕作者、宅眞さんの俳句を鑑賞してみましよう。五・七・五(十七音)の定型である。一句の中に季語が必ず一つある。これで宅眞さんはその日から立派な俳人です。  
水音みづねと即(つ)かず離れず紅葉狩 比奈夫  
これは歳時記から引用した先生の句です。先生の句には何に最も感動したか写生の焦点がはっきりしています。宅眞さんも、どこが一番好きなのところを具体的に表現すると読む人の感動を誘うことになりそうですね。

中谷 明子

この暑さ さすが向日葵 頭下げ  
〔寸評〕下五の「頭下げ」は、ちょっと詩的に「うなだれる」としたらう？

中谷 明子

炎天えんてんに 走る学生 気が痛む  
〔寸評〕「走る学生」とは、就職活動、略して「就活」といい、会社訪問など求人先に働きかけることをいいます。就職難のご時世は大きな社会問題になっています。作者は将来のある学生たちの巡り合わせに思いを馳せるやさしい親心の一句。

西 富枝

山粧やまづかう 四方よもの山々 時季ときせきとなり  
〔寸評〕四方の山々が「粧づかふが如く」、色づいた感動の一句。  
参考 春の山を形容して「山笑やまわらう」、秋の山「山粧やまづか(よそ)う」、冬ふゆの山「山眠やまねる」

西 富枝

虫むしの声 日ひごと大きく なつかしや  
〔寸評〕昼よりも夕方から夜のほうが多く鳴き秋の夜の寂寥(せきりょう)を深める。風の音、虫の音につけて、人々は「もののあわれ」を知るようになった。「なつかしや」は抽象的、具体的に「迫る闇」としたらう？

〔選者 吟〕  
たをやかな 腰こしに荒縄 ミス案山子  
信廣 高陽

# あすかスタッフに迫る!

病児保育室

保育士

角崎 寛子さん



**Q. あすかに入社して何年目ですか?**

A. 3年5ヵ月になりました。

**Q. 入社のご動機は?**

A. 今まで、幼稚園教諭・保育士などの経験があるのですが、保育士時代に働く保護者にとって病児保育室はとても頼りになる存在であると知り、興味を持ち子育て支援に関わりたと思ったからです。

**Q. スキルアップのために、たくさんの研修会に参加されているそうですね。**

A. はい。毎年「全国病児保育研究大会 in 東京」などに参加しています。その他にも子どもの病気について・ワクチンについて・薬の飲ませ方・遊び・発達障害の子どもとの関わり方などについての研修会に参加し、日々の保育に役立てています。

あすかでは、研修会に参加するチャンスがたくさんあるので、これからも学び続け病気の子どもたちが安全に過ごせ、保護者の方々が安心してお子様を預けて頂けるように、保育に活かしていきたいです。

**Q. 趣味は?**

A. リコーダーです。公民館の教室に習いに行っています。クリスマス時は、幼稚園や公民館でコンサートを開きます。

編み物をするのも好きです。今まで、ベストやマフラーを作ってきました。今は流行のチュニックに挑戦中です。



## スタッフからの声

角崎先生は、細かいことに気づきいろんな意見を出してくれます。保育の大ベテランなのでとても頼りにしています。  
インタビューー 浜本 正美

3S

Specialist (専門家)

職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要サービスを継続的に提供します。

Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

## ~ 医療法人あすかの理念 ~

当法人は ISO9001 の認証施設です



H22年9月16日に再認証をうけました

### 【編集後記】

今月は実際に「夢プロジェクト」の活動を紹介できることを大変嬉しく思います。  
ご利用者様にも、ご家族にも喜んでいただけるプロジェクトを今後もたくさん掲載できればと思います。  
私が個人的にも毎月楽しみにしていた、「小窓の花ことば」が、今月で最終回になりました。  
新シリーズも検討中です。お楽しみあれ!

毘沙門クリニック  
ショートステイ いわや  
デイサービスセンター 野の花

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門台東1丁目24・16  
デイサービスセンター しゅりあちよーく  
デイサービスセンター 野ばら

高橋内科小児科医院  
デイサービスセンター まやるちよーく  
通所リハビリテーション すてっぷ  
ショートステイ みどりい  
小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

緑井2丁目12・25

あすか病児保育室

緑井3丁目20・1・103  
あすか居宅介護支援事業所  
082・830・5177

医療法人あすかの医療・介護関連施設